

米沢市都市計画マスタープラン及び米沢市立地適正化計画（素案）に係るアンケート調査について（結果概要）

1 調査概要

主に誘導区域の居住者を対象として、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に関する説明会の開催を予定していたところ、新型コロナウイルス対策に伴い予定を変更し、アンケート調査に切り替えました。ハザードマップを含めた計画概要を示した上で、その周知を図るとともに意見の聴取を行ったものです。

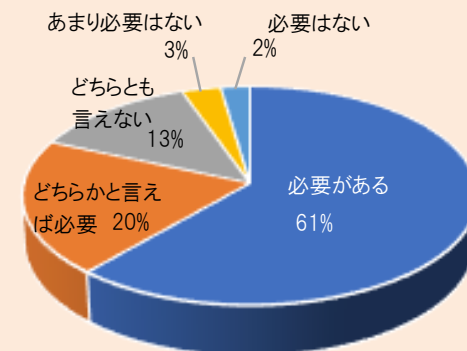
表 調査概要

実施期間	令和2年6月1日（月）～令和2年6月15日（月）
配付・回収方法	配付：郵送配布 回収：返信用封筒による郵送回収
配付数・回収状況	配付数：450 票 ・ 概ね誘導区域内に居住する地区委員 230 票 ・ 概ね誘導区域内に居住する 20 歳以上無作為抽出 220 票 回収数：262 票 回収率：58.2%

2 調査結果

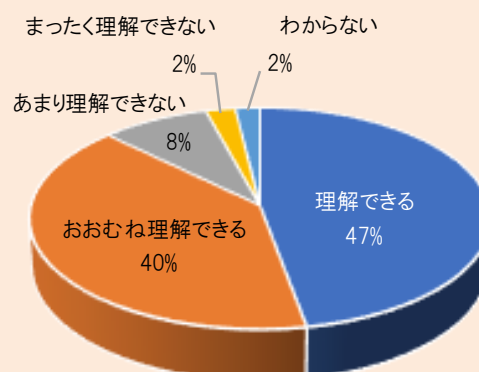
問1 人口減少社会に対応した持続可能な「コンパクトなまちづくり」を進めていくことについてどう思いますか。

「コンパクトなまちづくり」を進めていくことについて、「必要がある」、「どちらかと言えば必要」と回答した人は約8割を占め、「必要はない」、「あまり必要はない」と回答した人は1割未満となっています。



問2 計画中、「住まいと生活に必要な施設を誘導する場所⇒『誘導区域』」を設定して、今後のまちづくりを進めていくことについて、どう思いますか。

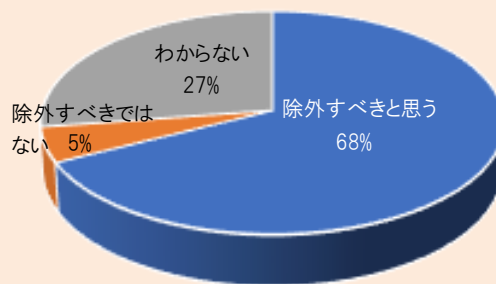
『誘導区域』を設定して、今後のまちづくりを進めていくことについて、「理解できる」、「おおむね理解できる」と回答した人は9割近くを占め、「まったく理解できない」、「あまり理解できない」と回答した人は約1割でした。



問3 災害の危険度が高い区域（例：浸水想定区域のうち浸水深0.5m以上が連坦する区域）を「誘導区域」から除外したことについて、どう思いますか。

危険性の高い区域の「誘導区域」からの除外について、約7割が「除外すべきと思う」と回答し、「除外すべきでない」と回答した人は5%でした。

「除外すべきではない」と回答した理由として、除外した区域に居住する人・世帯への対応が示されていないこと等が挙げられています。



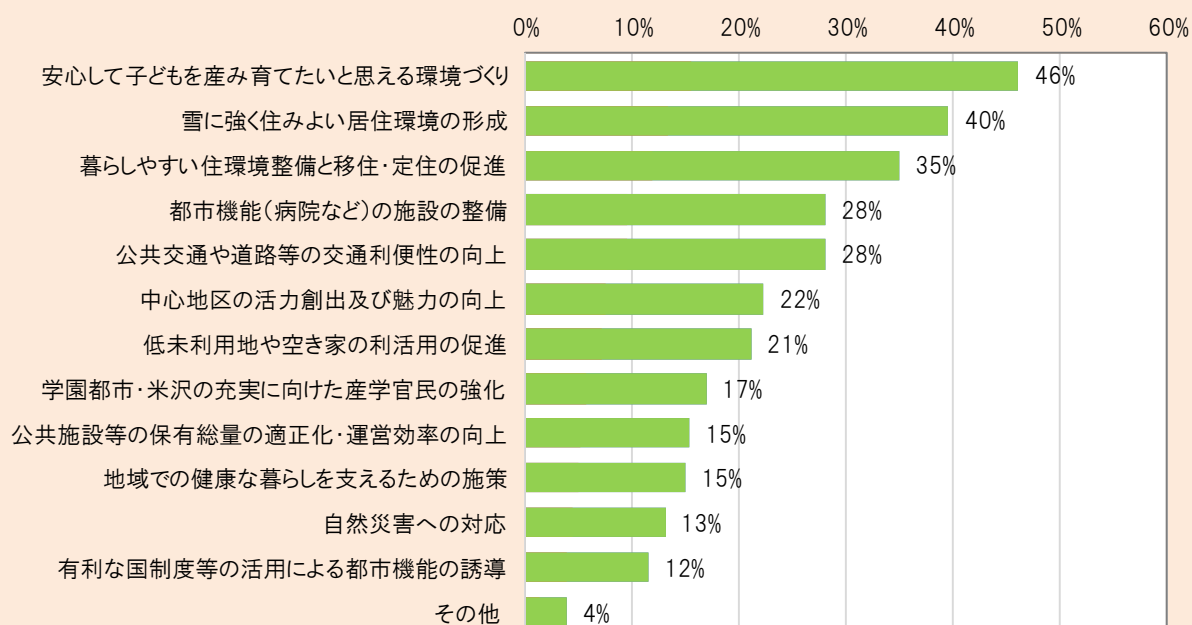
「除外すべきではない」とする理由

- ・水深が何センチであろうと困る人が出てくる。
- ・そこに居住している人、世帯に対して如何に対応するのか。地図も分かりづらい。
- ・市町村は住民を守らなければならない。
- ・区域からはずれたところはどうするのか、除外する前に考える必要があると思う。
- ・老人の避難を優先すべき。

問4 人口減少社会に対応したまちづくりを進めて行く上で、今後、どのような施策を優先すべきだと思いますか。

人口減少社会に対応したまちづくりにあたり、今後優先すべき施策について、【安心して子供を産み育てたいと思える環境づくり】、【雪に強く住みよい居住環境の形成】、【暮らしやすい住環境整備と移住・定住の促進】等が上位となっています。【都市機能（病院など）の施設の整備】、【公共交通や道路等の交通利便性の向上】がそれに続いています。

【除排雪】、【医療・福祉施設】、【子育て】、【公共交通】等の項目の優先度が高く示された前回のアンケートと同様の傾向が見られたと同時に、従前のアンケートにはなかった【移住・定住】が上位に現れました。



※全項目から3つまで選択。

※記載する数値（割合）は各項目選択個数を回答者数で除したものの。

「その他」の内容

- ・企業の創出、企業誘致。・生活の変化を先取りする政策。例えば高齢者世帯の買い物の宅配。民間との協力でスマホや居住地域の新聞チラシで注文する宅配するシステム等。・高収入を得られる職場の創出。・安心して働ける環境、企業の誘致。・福祉の充実（100歳に100万円、出生に100万のお祝い金等）。

問 5 自由記述

【計画案、アンケート調査についてのご意見】

- ・計画（案）で人口減少は防げないと思います。
- ・計画はいいと思いますが、個人や善意に頼っている計画に思えました。もっと積極的にお金を出し、個人へアピールしていくべきだと思います。
- ・計画通りに進めていただきたい。
- ・米沢は食べ物もおいしく、歴史あるすばらしい町。次の世代に引き継ぐためにも、都市計画は重要だと思う。
- ・居住を誘導する事は大変だと思うが、やっていかなければならないのは明白。
- ・「コンパクトな町づくり」という計画には賛成です。
- ・居住誘導区域に、区域外住民を受け入れるだけのキャパがあるのか（空き家への受け入れと言えども、リノベーションや所有権とのかねあい等）何も示されていないのに理解の有無を求められても判断できない。
- ・都市機能誘導区域の中心地区は現時点で（利用者目線でも）機能は相応であり、維持のみで充実を図る必要はない。
- ・人口減少の計画ではマイナス思考の考えで魅力がない未来になってくるのではないかと。プラス思考の考えで米沢の魅力は何か、もう一度考えてもらいたい。米沢に定住する若者がますます減少していつてしまうのではないかと。
- ・より積極的に居住の誘導を働きかけるべきと考える。遅れるほどに、行政機能や市民サービス維持の負担が大きくなっていく。人口減少は止められないのだから、30年後、50年後の子孫の為に早く動くべきである。「切り捨てられる」意識の地域も出てしまうだろうが、行政と議会がタックを組んで取り掛かるべきと考える。
- ・人口減少や少子高齢化が進む現状での諸施策の構築は困難と思料されますが、都市計画（見直し等）の充実強化をお願いします。
- ・浸水想定区域に市役所、置賜総合支庁が入っているのが気になります。将来治水事業により浸水しないような計画があるのか、有ってほしいと思います。20年度、30年後生きていられるかわからないが、子や孫が安心して暮らせるまちづくり（プラン）をお願いいたします。
- ・概ね素案で良いと思うが、生活様式の変化を先取りし指導して高齢者が安心して暮らせて、若い人が安心して子育てできる米沢市を目指してください。
- ・課題はわかるし将来の都市計画や立地適正化の必要性もわかる。住まいと生活に必要な施設を誘導するということがわかりにくい。それが立地適正化、将来の都市計画だろうとは思いますが（これもこういう理解でいいのかわかる）、ではどのようにしていきたいのか？がよくわからない。既に大きな課題であるコンパクトシティ構想に取り組んでいるということはよくわかりました。困難は大きいと思いますがよろしくお願いいたしますという気持ちです。
- ・計画の早い段階から税収減に見合った計画が必要であり、行政経費でなんでもまかなえるものではないことを市民に理解してもらい、市民が自営的に人口減に向き合うようにしたい。
- ・具体的に市民の居住区及び非居住区を設定し行改革を進めるべき。
- ・都市計画マスタープランにおいて、将来の都市像～基本的方向迄の考え方は、おおむね理解できるが、問題として上げられることは、①人口減少の肯定を前提にして構築しようとしているが、その歯止め策や問題策が入っていないように見えて非常に残念である。②基本的方向の内容は多岐に富んでいるが、詳細が見えてこない。云わば評論家の言いまわしに聞こえる。ここは総論賛成各論反対にならぬ為にも、であれば明日から具体的に何をするのか、さらに明確にし、市民にぶつけて（明示して）頂きたい。
- ・都市計画の大幅な見直し、実施困難が見込まれるものについては廃止すべき。
- ・決断決定を強力なリーダーシップで発揮してほしい。市民のコンセンサスは必要だが時間は待ってくれないし、統計数字は嘘をつかない。スピードが一番必要と考える。
- ・説明資料が分かりにくい。一寸見てもわかるようにお願いしたい。
- ・中心地区で増える空地空家を千載一遇のチャンスと捉えて大胆な緑地帯の確保、中心部を通る片側2車線道路の確保など、余裕のある都市計画をしてほしい。
- ・コンパクトなまちづくりを目指すのであれば、というより、これからコンパクト化は必須であるが、これまでのような広く薄い開発ではなく、狭く厚い開発へと移行しなければいけない。具体的には、まず都市

（再）開発の基幹となる道路整備である。従来からある旧市内中心部を走る道路（県道を含む）の直線化と幅員増。併せて区画整理などにより空き地、空き家等の不動産需要拡大を図る。市内中規模スーパー等を増やし、郊外型大型スーパー依存形態から脱却。病院等を含む都市サービス機能は可能な限り市内中心部へ移動。ほかにもあるが、いずれも金と時間を費やすものである。だが1年に10mの道路を整備しただけでも10年で100mである。100mの道路整備だけでなんとかなる地域など市内中心部にはいくらかもある。困難を避けて、開発を着手しやすい市周辺部地域のみへと拡大させてきた結果が現在ある市中心部の空洞化である。

- ・計画が膨大すぎるのでもう少し的をしぼった案が必要なのではないか。この計画を進めるためには行政機関の後押し（補助金等）がないと動けないと思うので、そのあたりの具体的な話等が不可欠と思われる。計画自体は大変良いかと思う。
- ・来年4月中旬新庁舎完成、そして令和5年度新病院開院予定などさらに市の財政問題あると思います。都市計画マスタープラン及び立地適正化計画（素案）を計画前期となる概ね10年を目途とした目標より5年毎に四期位に設定したほうが良いのではないかと。今回の新型コロナも含めて環境が変わっていくのではないのでしょうか。住み良い街づくりを推進していく計画に個々人が経済的にもついていける、協力できる体制を築くことも大切であると思います。
- ・計画（案）については、理解できるが、現状の生活が維持できるよう計画に基づき、施策を講じていくことが大切であると思料する。又、将来の米沢市の新たなまちづくりを推進していく事は、大きな課題であります。
- ・中心地区に都市機能を誘導するのは間違い。市役所が一番浸水しやすい低い所に建て直して、水害等の災害はコントロールできない。これからの都市計画は、災害をコントロールするには、消防（市役所）、病院、警察が連携がとりやすく、2市2町（3市5町）を考え、高速の中央IC付近に設置すべき。
- ・計画案については将来の生き残りを考えれば十分に検討されるべき案だと思います。これらに投じる財政的なバランスシートをどう見てるのか市民への説明資料として必要。米沢の将来像として早く打ち出して行くべきだと思います。
- ・本計画は長期スパンにおいて重要な計画であり、現在又はこれから発生する都市機能に必要なインフラ施設の維持あるいは更新に重点を置く必要があると思います。
- ・計画ありきではなく、情勢に応じて、計画を見直しながら柔軟に新しいまちづくりを進めて行ってほしいです。

【雪対策等についてのご意見】

- ・冬期の雪対策の一環として町内を流れる河川の再確認し、川の流れが止まらないよう点検しておく必要があると思う。
- ・流雪溝などを整備し、雪が生活の邪魔にならないような市にすることで人口が増えるのではないかと。

【中心市街地についてのご意見】

- ・中心地区に若者が遊びに行くようなサブカルチャー的な建物がほしい。
- ・興譲館、米工を中心地区に持ってきて、中心地区が人で活気ある地区にすべき。

【駅前活性化についてのご意見】

- ・駅前及び周辺を活性化させてほしい

【公共交通についてのご意見】

- ・都会と違い公共交通が少ないの利便性を考えてほしい。そして高齢者の車の運転を出来るだけ少なくし、交通事故が起きないように。
- ・これからは高齢者が多くなると思うので、公共交通に力を入れてほしい。そうすることにより住みよい市になると思う。

【市民への周知、情報提供等についてのご意見】

- ・コンパクトなまちづくりのメリット（費用対効果も含む）を数多く市民に知らせてもらいたい。
- ・コミセン単位で市民と納得いくまで細かい話し合いが必要と考えます。
- ・税や負担についてが見えてこない。街がコンパクトになった分、税金も下がる等の案内もしてほしい。
- ・誘導区域外のサービス低下に対する知恵の内容を明確・具体化し、示して全市的理解を得る必要がある。
- ・都市整備について計画進捗などもっとわかりやすく状況を提示し、効果があった旨を伝えてほしい。
- ・一人でも多くの意見を聞いてほしい。

【人口減少・少子高齢化・子育て・教育等についてのご意見】

- ・人口減少が当たり前という姿勢が分からない。
- ・40代～50代の未婚者の問題、教育費の負担、高齢者の一人暮らし増など人口増はならず。10年後人口10万人以上を施策する考え方もあるのでは。
- ・高齢者も大切な存在だが、若い方そして子供達が米沢で生活していて良かったと思われる場所でなければ人口は増えないと思う。
- ・人口減少社会を改善するためには子供3人目から大学を無償化出来る予算化が必要だと思う。大学への入学から生活費のサポートが重要と思われる。
- ・学区編成を早めに、やり方や時期を決めて市民に伝えてほしい。まずは10年後くらいのビジョンを示してほしい。
- ・10代、20代の人達がより多く住めるような魅力ある街づくりが必須である。そのためには安心して子供を産み育てる環境づくりと働き場所（大企業など）の確保が必要かと思います。
- ・将来を担う子供たちが、安心・安全に生活できる環境づくりをしてほしい。
- ・人口減少はどうしようもない時代だが、安心して子どもを産み育てたいと思える環境は大事だと思う。子育てにかかる行政の負担を大幅に増額し、子育てしやすい都市にしてほしい。
- ・学園都市・米沢と訴えている点を考え、将来的に周辺部の県立高校の集約と市中央部への回帰も必要な事と考える。
- ・結婚して子供を産みやすい方法とPRを。金銭的な優遇策を考える必要があるのではないかな。
- ・学園地区が通学できない程遠い所に立地する等は論外。工業、興譲館を中心地区に持ってきて、ナセBAを中心に学園地区にすべき。

【移住、定住についてのご意見】

- ・都市計画と同時進行で進めていただきたい対策として、Iターン、Uターンなど地方移住者を増やす施策も実行してほしいと思います。コロナで東京に住みたくないと思っている人も中にはいると思うので、テレワークが米沢で稼働できる環境を整え、アピールしてほしいです。
- ・若者が米沢に定着できるような魅力ある街づくりが是非必要。
- ・産学官民連携の施策をもっと発展させて、学生の卒業後、米沢に残り定住しやすい環境づくりを進めてはどうか。

【医療、福祉等についてのご意見】

- ・病院を多くし市立病院にも精神科を複設してもらいたい。
- ・どんどん増えている高齢者が通う市立病院は現在地での建て直しは大変不便の所であるし、何で三友堂と一緒にしなければならないのか。舟山病院とはどう共合するのか。病院はICの近くで救急にも対応できるようにすべき。川のそばで浸水したらどうするのか。中心地区はどこでもよい住みやすい安心な都市計画を作るべき。病院は市立ではなく県立を目指すべきではないか。3市5町の中心となるべき病院が必要と考

える。病院は特に中央 IC 近くに移転すべき。

【空き家等についてのご意見】

- ・ 空き家など市で買い取り、県外からの移住者に貸すなどしてもいいのかと。
- ・ 空き家の解体（利用しない場合の）促進。一定期間を定めて条例で可能にしてもらいたい。
- ・ 不動産の相続についてのトラブルが毎年増えていると聞いています。相続に関する制度の簡素化を進めてほしい。また、放置されている家屋や土地に対して厳しい税制処置をとってほしい。
- ・ 空き家を都会人に貸し出し（別荘的な発想）第 2 の古里づくりをしてはどうか。
- ・ 居住誘導区域内における空き家・空き地の再住宅建築可能とするために市の補助や税制優遇を考えてほしい。
- ・ 定住の為には、空き家の活用（リフォームして）も必要では。

【観光についてのご意見】

- ・ 計画を進めるためにも、お金が必要。お金を得るためにもう少し観光に力を入れ、外部から得るようにできたらいいと思う。自分たちが旅行に行きたくなるような宿泊する所や食べ物屋さん、米沢の自然をいかしたレジャーを整備することで、行きたい、住みたいまちとなり、税収を増やせるのではないのでしょうか（個人の店や中途半端な施設ではダメ）。
- ・ 大規模に駐車場を作り、もっと他県から観光客が喜んでしかも安心して来るような取り組みが必要。例えば伊達の山城を見学した後に館山のサクランボ刈りをするための駐車場づくり等。
- ・ 郊外にアウトレットモールを誘致する等、人が集まる巨大なショッピングモールを作り、県外からのお客さんを集める事が必要。そうすれば、米沢に住もうなどと考えると思う。

【働く場所、企業誘致等についてのご意見】

- ・ 働く企業が少なく、米沢の多くの人は低収入。企業の誘致（なるべく大企業）が必要。
- ・ 人口を増やすため、就労場所を提供してほしい。
- ・ 市街地には働ける工場などあればいいと思う。
- ・ 10 代、20 代の人達がより多く住めるような魅力ある街づくりが必須である。そのためには安心して子供を産み育てる環境づくりと働き場所（大企業など）の確保が必要かと思います。
- ・ 仕事の場を増やすべき。
- ・ 暮らしやすい住環境の 1 つに米沢で働いて生活できるだけの賃金が得られる企業、会社、商店など、優秀な働ける場所は何とんでも必要。

【景観等についてのご意見】

- ・ 駅前やインター付近の景観をきれいにして、古い町並みから脱却して広くて通行しやすい道路の整備を推進してほしい。裏磐梯のように景観を統一しても良いと思う。新幹線や高速道路で来県した人に楽しんでもらえるような、また来たいと思ってもらえるような町づくりが、この町の持続可能な町づくりにつながると思う。
- ・ 電柱の地中化（幹線道路だけでも）。

【その他ご意見】

- ・ 誘導区域となる外の地区にも先住人が代々守り受け継いできた大切な文化歴史がたくさんあるはず。とか

く人の目が届かなくなると、御座成りになりがちで衰退していくのは目に見えてる。米沢のすみずみまで、どう目をかけ、維持、活用していくのか。このバランスがとても重要だと思います。

- ・そもそも高齢化に対応する為に最優先で着手すべきであった公共施設の充実化は市役所ではなく市立病院であったはず。市民は市職員が考えるほど納得（理解）はしていないと思われる。
- ・計画の推進に当って、当然に「産学官金連携」が必要となるはずなので、連携強化もお願いしたい。「産学官金連携」+「市民委員」の会創設は如何だろうか。
- ・全体に高齢者が増えていく中で、カーシェアリングなど高齢者が安心して移動できるような町づくりが進むといいと思う。（特に農林部などに住み、中心区域から少し離れた所に住んでいても、高齢で車が運転できなくなった時に安心して移動や買い物に行くことができるといいと思う。）
- ・市内に短大を含めて3大学があるにもかかわらず、学生が街中で生活、遊ぶ場所がない。アパートと学校だけの往復ではなくもっと米沢の生活を理解して楽しむ（民泊、里親）の制度があれば卒業後に地元に残ることもあるのではと思う。
- ・鶴岡市のように人口増加のところもある。市職員幹部の熱意が米沢市の場合全然感じられない。
- ・新型コロナで分かるように、大都市に集中して発生している。人口減少対策も必要であるが、病院などの施設を充分にして、安心して生活できる町づくりをすれば、人口も増えてくると思う。
- ・今回は米沢市の将来についての事だが、以前にも話があった置賜地域の各市町村との合併という話はどうなるのか。各地区とも将来は大変なので、合併を進めることでお互いのメリットやデメリットを補ってお互いにプラスになる様な事も考えていってほしい。
- ・地方（人口が少ないことが魅力）の有利さを活かして「住みたい+働きたい」場所へと変化させることを望む。
- ・安心、安全、そして希望に満ちたまちづくりに期待している。
- ・新型コロナウイルス感染者によって、人々の行動が変わってくるかもしれない。このことをどのように見通すかが、今後の課題となるかもしれない。
- ・2040年の米沢市の人口推計を見て、さびしい思いをした。65歳以上の割合が39%（10人に約4人）となるならば、やはり高齢者が暮らしやすいまちづくりが不可欠と思う。防災や公共交通の充実など、健康長寿の施策と合わせて推進してほしい。
- ・市民文化会館の建替え。イス（せまい）や音響の良い施設が欲しい。
- ・国際的イベントの誘致をしてはどうか。
- ・中心部の税金（固定資産税）を安くするべき。そうしないと郊外に移らないと思う。
- ・新規就農希望者の為、農地所有面積の縮小化をしてほしい。
- ・居住誘導区域をつくるだけではなく、若い人たちが暮らしやすい町づくりをしないと高齢者だけの町になってしまう。魅力ある町づくりをお願いします。
- ・全国のモデル都市例を示すのも良いと思う。
- ・世界の食料事情から、今後第一次産業の重要性が一段と深刻化するものと思われる。当市は産業地区であり産学官の連携により、物づくりと併せて新しい農業施策が求められると思う。
- ・生活弱者（子供、学生、高齢者等）が住み良い街づくりが必要。
- ・若い人たちが（家族）楽しめる娯楽施設やショッピングセンター等の誘致も行って、米沢から人が移動しない楽しい町づくりが必要です。栄養大学や短大が米沢にあるのだから、卒業しても米沢に住んでいたいと思われる町にしていくべきです。
- ・まちづくりの基本はひとづくりという観点から、ひとを育み文化を創ることが大切です。一人ひとりが自己を高めながら、まちづくりに参画できる環境づくりが求められていると思います。これからは、子どもたちが心身ともに健やかに成長できる環境づくりを進めるとともに、行政はすべての市民の学習に対する多様な要望に的確に応え、市民が自ら学び、協働して地域に根ざした魅力あふれる生活の創造を進めてほしいと思います。また、恵まれた自然や歴史を大切にするとともに、芸術文化の拠点としての文化会館の整備しつつ創造的な魅力と文化的な活力のあるまちづくりを目指してほしいと思います。